網走市町内会連合会だより

チパシリ

令和５年１月１日発行　**第8号**

発行：網走市町内会連合会
編集：網走市町内会連合会広報委員会
電話：４３－２４７２ FAX：４３－３９１９
メール：abachouren@a-shakyo.jp
ＦＢ：https://www.facebook.com/abacho432472/
ＨＰ：https://shichoren-abashiri.jimdofree.com/

町内会長インタビュー

潮見台町内会（S26 生）
会長　藤原　孝一さん

①歴代の町内会長の苦労がわかったこと。
②後継者がいないこと。
③高齢者が心身共に健康であるには何が必要かを考えています。
④若い人が夢を見られるような時代になることを願っています。

呼人第2町内会（S26 生）
会長　川村　富士雄さん

①地域の皆が私の顔を覚えてくれること。
②役員の担い手がいないこと。
③スマートフォンの使い方を勉強中です！
④事件や事故がない地域にしたいです。

【質問内容】
①町内会長になって良かったこと。
②町内会長になって苦労したこと。
③今、熱中していることは何ですか。
④2023年はどんな年にしたいですか。

町内会クイズ

クイズに答えてプレゼントをもらおう！！

【応募方法】ハガキに①クイズの答え、②〒・住所・氏名（フリガナ）・電話番号、③年齢、④町内会に加入していれば町内会名をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。抽選で５名様に、(有)大谷蒲鉾店の蒲鉾詰め合わせをプレゼントいたします。当選者には事務局よりご連絡いたします。（※当選者氏名については市町連フェイスブックにて公表させていただくことをご了承下さい。）

【応募締切】令和５年１月１６日（月）必着

【宛先】〒093-0061
網走市北 11 条東１丁目
網走市総合福祉センター内
網走市町内会連合会　行

【クイズ】正しいものはどれでしょう？（ヒント：紙面を読んで答えましょう）

問１　大量のティッシュ等が原因で故障する可能性のある機械はどれでしょう？
①破袋機　②破砕機　③コンポスト

問２　市町連が意見交換会を行った学校はどこでしょう？
①網走小学校　②東京農業大学　③桂陽高校

問３　詐欺等について相談できる消費者ホットラインの電話番号はどれでしょう？
①119　②117　③188

網走市町内会連合会ではFacebookをやっています！市町連の日々の活動をお伝えします。あなたの いいね！ をお待ちしております。

ホームページも是非ご覧ください！
網走市町内会連合会　ホームページ

最終処分場の危機！

【まちづくりふれあい懇談会】
令和４年７月２５日（月）～８月２６日（金）、全９会場にて「まちづくりふれあい懇談会」が開催されました。今年度のテーマは①最終処分場の状況とごみの出し方について　②各地区連の地域課題について（４地区で設定）　③その他です。合計１０７名の地域の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

まちづくりふれあい懇談会

昨年の懇談会に引き続き、今年度もメインテーマは「ごみ問題」です。その中で最も質問が多かったものとして、ティッシュや割り箸を生ごみとして排出して良いかという問題です。家庭の各部屋のごみ箱から集めたごみはどうしてもティッシュが多くなります。当初市ではティッシュは生ごみの水分を吸い、堆肥の原料にもなるので生ごみとして排出して良いとしていました。しかし、ティッシュの塊は固く、破袋機の故障の原因になることがわかり、**分別方法の見直しを検討している**とのお話でした。

＝現在は堆肥化の状況が改善していることから、分別方法の見直しは見送ることになりました。＝

また、二つ目のテーマとして、より地域に密着した課題の解決のために各地区連ごとに地域課題を設定し意見交換を行いました。テーマとして、**「ごみの不法投棄」**や**「交差点の信号機・横断歩道の設置」**、**「新庁舎の進捗状況」**等が挙がりました。

その他の質問では、資源ごみ集積所が一般ごみと併設していないため、遠くまで出しに行くのが大変だという意見に対し、後日すぐさま資源ごみ集積所が設置され、近隣から大変喜ばれたというお話を聞きました。可能な限りその場で対応策を示してもらえるのは、まちづくりふれあい懇談会の醍醐味だと感じます。**住民が何に困っているのか意見や要望を市に直接投げ掛けることができる機会**を、今後も大切にしていきたいと思います。

明治ごみ処理場の見学

市町連と市が連携し、ごみ分別の理解促進や埋立処分場の現状を把握するため、明治ごみ処分場の見学会を実施しました。令和４年６月１７日（金）の市町連理事を皮切りに、西網走地区行政連絡協議会、潮見地区町内会連合会、つくしヶ丘地区連合町内会、北連合町内会が見学会を行いました。

右の写真は手作業で袋を破き、資源ごみを選別しているところです。このような手間を考えると、適切な分別を一人一人が心掛けなくてはならないと改めて思いました。**リサイクルされるごみがその後どこへ行き何に生まれ変わるのか、私達にはもっと「知る」機会が必要**なのではないでしょうか。また、**幼児期から環境問題を学び、意識を高める**ことも大切だと思いました。

視察研修を行いました

【上富良野町役場】６月２８日（火）

上富良野町は人口１万人、２５の住民会からなり、過去の十勝岳の噴火により市民の防災意識は高く、町は２５住民会に対し２名の防災士資格取得費用や防災訓練や資機材の購入に補助金を出しているそうです。市町連においても、自主防災組織の結成を推進するために必要な支援を考えていきたいと思います。

【富良野広域連合　環境衛生センター、富良野市リサイクルセンター】

６月２９日（水）

富良野市は平成１３年から「燃やさない・埋めない」を基本に、１４種類の分別に取り組んでいます。リサイクルセンターでは、可燃ごみを固形燃料化し、札幌を始め温浴施設等で熱源として利活用されています。

「分ければ資源・混ぜればごみ」を合言葉にリサイクルに取り組んでおり、ごみボックスの名称を「資源回収ステーション」に変更しています。また、ごみ分別の啓蒙活動として、小学校４年生の**児童を対象に見学会を開催**し、分別の大切さを教えています。

右の写真は、破砕機で細かくされた布団や服等の布製品です。これらを原料として固形燃料が作られています。

町内会活動推進研修会

令和４年８月２０日（土）、南コミュニティセンターで市町連主催の町内会活動推進研修会を開催し、５３名の地域住民の方に参加していただきました。講師は、東京農業大学教授　木村俊昭氏をお招きし、「地域創生・ＳＤＧｓ　輝く地域は協働、共創、共感！－実学・現場重視の視点から」をテーマにご講演をいただきました。木村教授はスーパー公務員として多数の著書やメディア出演されている方です。

皆が主役のまちづくり

少子高齢化が進む中で、地域の活性化につながるヒントとして「みんなが主役のまちづくり」について講話をいただきました。地域創生の事例として、地元では嫌われ者の「地吹雪」を利用して雪を知らない人を呼び込むツアーを企画した町の事例や、規格外の大和芋を使った芋焼酎を製造し遊休地の活用や農家の所得増につなげた町の事例を挙げ、**「笑顔、感動、感謝！」が人や地域を創る**のだと学びました。そして、私達大人が網走市についてもっとよく知り、子ども達に語り、愛着心を育んでいくことは今後の地域を担う子ども達を育てていくうえで、とても大切なのだそうです。

また、自己分析・自己理解から他者理解・相互理解そして相互共感へ変えていき、**「できない」を「できる」に変える**ことが、**住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けられるまちづくりには大切**だと話されました。

道東都市町内会・自治会連合会連絡会

令和４年１０月２０日（木）～２１日（金）、道東都市町内会・自治会連合会連絡会が根室市で開催されました。本連絡会は５２回まで続いた道東都市町内会長大会の規模を縮小し、各市の情報交換をする連絡会議に変わったものです。今年度は「町内会の現状と課題」をテーマに各市の取り組みについて意見交換を行いました。

町内会の課題については、役員の高齢化による担い手不足、役員の負担が大きい、加入者の減少等、各市共通であることが確認されました。取り組みとして、帯広市では転入届の記載台の前にＱＲコードを貼り出し、それを読み込むと町内会加入申込書が出てくるシステムを行っているそうです。また、加入に消極的な未加入者には協力金を求める方法を推奨しているそうです。各市様々な取り組みを行い少しでも加入者を増やそうと努力していることがわかりました。網走市も他市の取り組みを参考にし、少しずつ出来る事から取り組んでいきたいと思います。

東農大生との意見交換会

10月18日（火）、東京農業大学の学生と市町連との意見交換会が開催され、道外から来た学生から見た網走市の印象について率直な感想を頂きました。その中の一部をご紹介すると、**自分達で開発した商品を出店できるようなイベント**があると良い、**空き店舗を利用して誰でも利用できるような場所**があると良い、**ＳＮＳを利用して網走市の魅力を発信**してはどうか等、学生ならではの素晴らしいアイディアを頂きました。学生と市町連がどのような連携ができるのか模索している段階ではありますが、このような機会を今後も継続していけると良いと思います。まずは、コロナ禍前にあった**地域と農大のつながりを復活させていきたい**と考えています。

⚠注意　詐欺

電話やハガキ(封書)等により、親族や公共機関の職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、還付金が受け取れるなどと言ってATMを操作させるなどの「特殊詐欺」が市内でも発生しています。国の関係省庁や市役所などが口座番号や暗証番号など聞いたりすることはありません。このような電話があったら、すぐに警察や消費者相談室にお電話ください。

●実際に網走市内であった例
・実在しない個人名、会社名を騙り、「市役所から依頼されて電話をした、70 歳以上の方は優先的に老人ホームに入居できる」等と電話がかかってきました。相談者は、電話を切った後、市役所に確認し、被害に遭わずにすみました。
・北海道内に所在する金融機関を騙り、「あなたの口座から 15 万円引き落とされます。対象でない方は 1 を押してください。」といった電話が自動音声でかかってきました。

●相談受付・お問合せ先
【詐欺の疑いがある場合は・・・】
・網走警察署 生活安全課
　電話：0152－43－0110
【消費生活相談】
・網走市消費者相談室
　電話：44－7076
（平日(月～金)10時～16時　年末年始除く）
・消費者ホットライン
　電話：188
（土・日・祝日　10時～16時　年末年始除く）

地区連事業助成金交付制度

◀ 向陽ヶ丘地区連と海岸町町内会の合同防災訓練。地域住民が津波避難経路を実際に登る様子。

今年度より令和６年度までの３年間、市町連の自主財源を利用し、地区連が実施する親睦事業や研修事業に対し助成する事業を始めました。令和４年度 11 月末現在の交付状況は次の通りです。

地区連名	事業種類	事業名	実施日	助成金額
つくしヶ丘	親睦事業	住民親睦パークゴルフ大会	6/19	10,000 円
駒場	親睦事業	第 24 回健康と交流・パークゴルフ大会	7/ 3	10,000 円
潮見	研修事業	いつまでも健康で明るく暮らすために	7/23	20,000 円
向陽ヶ丘	研修事業	避難所運営委員会訓練研修	8/21	20,000 円
北	親睦事業	パークゴルフ大会	8/21	10,000 円
天都山	研修事業	天都山地区防災研修会	9/17	20,000 円

「備品貸出制度」始めました

オンライン会議が主流の時代となり、市町連においてもオンライン等に対応するため、必要な備品を取得しました。地区連合町内会及び各町内会の皆様にも町内会活動の活性化を図る一助として有効に活用していただきたく、貸出制度を始めました！詳しくは下記事務局までご連絡下さい。

No	備品名	個数
1	ノートパソコン１式	1
2	Ｗｅｂカメラ	1
3	スピーカー	1
4	ポータブルＤＶＤドライブ	1

市長杯パークゴルフ大会

今年で 20 回目となるパークゴルフ大会がレイクサイドパークのとろで９月 11 日（日）開催されました。15 チーム 59 名の方にご参加いただきました。

優　勝　　駒場混成チーム
２　位　　北連合Ａチーム
３　位　　つくしヶ丘連合Ｂチーム

本大会は地区連合町内会に加入している町内会にご案内しております。是非、地区連に加入しご参加下さい！

自主防災組織結成に向けて

網走は「災害が少ない街」は大間違い！！！

今後市町連の事業の際にチラシを配付し、自主防災組織の必要性やどのように組織するのかを知っていただきたいと思います。市町連では自主防災組織結成に向けたご相談を賜ります。お気軽にご連絡下さい！！

網走市町内会連合会事務局
【住所】網走市北11条東1丁目　網走市総合福祉センター　【電話】43－2472